

日本台湾学会

第13回学術大会プログラム

(2011年5月28日(土)・29日(日)、於：早稲田大学)

共催：(財)交流協会、早稲田大学台湾研究所、早稲田大学グローバルCOEプログラム「アジア地域統合のための世界的人材育成拠点(GIARI)」

後援：早稲田大学アジア研究機構

第1日 5月28日(土)

受付開始：12:00(場所：27号館小野記念講堂)

記念講演*：13:00-16:45(会場：27号館小野記念講堂)「ベネディクト・アンダーソンとの対話」
*会場の座席数には限りがございますので、ご着席いただけない場合がございます。

会員総会：17:00-17:45

懇親会：18:00-20:00(会場：大隈ガーデンハウス2階)

第2日 5月29日(日)

受付開始：9:30(場所：26号館大隈記念タワー4階)

午前の部：10:00-11:50

昼休み：11:50-12:50

午後の部1：12:50-14:40

休憩：14:40-14:55

午後の部2：14:55-16:45

	企画								自由論題				
分科会領域	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
	文学	文学	文学	開催校	政治	政治	人類学	社会学	文学	人類学 言語学	国際関係 社会学	歴史学	宗教学 政治学
午前				○		○			○	○	○		○
午後1	○	○				○	○					○	
午後2	○		○		○		○	○					

(会場は当日ご確認ください)

使用言語：原則として日本語を使用

***** 《分科会企画》 *****

◇第1分科会（分科会企画・文学）【午後1・午後2】

「美意識と歴史意識」

企画責任者：橋本恭子（日本社会事業大学）

座長：松永正義（一橋大学）

報告者：

游勝冠（国立成功大学）「風車詩社唯美文学路線の政治的意味」

橋本恭子「「台湾の美」をめぐる認識の変化—『台湾』の議論を出発点として」

許倍榕（国立成功大学）「文化遺産の再認識」について—「民間文学整理論争」をめぐる—」

鳳氣至純平（国立成功大学）「書いたのは誰の歴史か？—浜田隼雄の台湾歴史小説研究—」

コメンテーター：邱若山（靜宜大学）、松永正義

◇第2分科会（分科会企画・文学）【午後1】

「植民地と占領地・二つの地域の文学と〈戦後〉—台湾と「満洲国」」

企画責任者：和泉司（慶應義塾大学）

座長：岡田英樹（立命館大学）

報告者：

岡田英樹「「満洲国」における中国人作家の言語表現—日本語利用の問題をめぐる—」

和泉司「〈引揚者〉にとっての植民地—西川満・引揚後の台湾表象を中心に—」

コメンテーター：日比嘉高（名古屋大学）

◇第3分科会（分科会企画・文学）【午後2】

「台湾・南方はどう語られたか—徴用作家のまなざし」

企画責任者：阮文雅（東呉大学）

座長：林雪星（東呉大学）

報告者：

阮文雅「徴用作家からみる南方民族認識—中村地平『マライの人たち』を中心に」

廖秀娟（元智大学）「台湾での旅からみる徴用作家の台湾認識—丹羽文雄と佐多稲子の場合」

林雪星「真杉静枝からみる中国と台湾—『南方紀行』と『ことづけ』を中心に」

コメンテーター：木村一信（プール学院大学）、下村作次郎（天理大学）

◇第4分科会（分科会企画・開催校実行委員会企画）【午前】

「早稲田と近代台湾の交錯」

企画責任者：岡本真希子（国立成功大学）

座長：梅森直之（早稲田大学）

報告者：

紀旭峰（津田塾大学）「近代台湾の諸啓蒙運動と早稲田大学」

岡本真希子「早稲田の政治・言論文化と近代台湾」

コメンテーター：若林正文（早稲田大学）、後藤乾一（早稲田大学）

◇第5分科会（分科会企画・政治）【午後2】

「台湾化する中華民国」における中国的シンボルの政治的効用（1972-2011）」

企画責任者：野嶋剛（朝日新聞）、家永真幸（東京大学）

座長：若林正丈（早稲田大学）

報告者：

野嶋剛「故宫文物をめぐる台湾政治の揺れ」

家永真幸「中国による台湾パンダ贈呈の政治的意義」

コメンテーター：松金公正（宇都宮大学）、石川誠人（立教大学）

◇第6分科会（分科会企画・政治）【午前・午後1】

「台湾と沖縄をめぐる国際社会の変容と越境する人びと」

企画責任者：何義麟（国立台北教育大学）

座長：泉水英計（神奈川大学）

報告者：

泉水英計「ジョージ・H・カーと沖縄人移民—台湾引揚からボリビア入植へ」

大浜郁子（琉球大学）「沖縄出身の台湾教育経験者たちの戦前と「戦後」復興」

水田憲志（関西大学）「戦後琉球政府時代の石垣島における台湾系住民」

八尾祥平（首都大学東京）「琉球華僑総会の政治社会学的分析」

コメンテーター：楊子震（筑波大学）、何義麟

◇第7分科会（分科会企画・人類学）【午後1・午後2】

「親族から考える台湾漢族社会の特質 中国、韓国との比較を通して」

企画責任者：上水流久彦（県立広島大学）

座長：三尾裕子（東京外国語大学）

報告者：

上水流久彦「親近感を語るための道具としての台湾漢族の「同姓」

西村一之（日本女子大学）「台湾東部漁民社会における漢族父系的親族規範の持つ意味：
漁撈集団の形成と維持を例に」

川口幸大（東北大学）「現代中国において父系出自でつながるということ
—華南の村落社会からの視点」

横田祥子（日本学術振興会）「少子化時代における「房」の存続：台湾漢族の事例より」

コメンテーター：嶋陸奥彦（ソウル大学）、植野弘子（東洋大学）

◇第8分科会（分科会企画・社会学）【午後2】

「社区総体營造の現在 都市と農村から考える」

企画責任者：星純子（法政大学）

座長：星純子

報告者：

河口充勇（東京女学館大学）「トップダウンからボトムアップへ？

—新竹市における社区營造の経験と課題」

星純子「地域政治に介入する社区総体營造—高雄市美濃区における县市合併の初歩的考察」

コメンテーター：佐藤幸人（アジア経済研究所）、松本充豊（天理大学）

***** 《自由論題報告》 *****

◇第9分科会（自由論題報告・文学）【午前】

座長：星名宏修（一橋大学）

報告者：

下岡友加（県立広島大学）「黄霊芝の日本語小説「輿論」考」

ムイニー・マシュー（Matthew Mewhinney）（早稲田大学）

「ディスプレイメントとリフラクション：周金波の作品にみるモダニティ」

コメンテーター：赤松美和子（大妻女子大学）、豊田周子（関西学院大学）

◇第10分科会（自由論題報告・言語学／人類学）【午前】

座長：三尾裕子（東京外国語大学）

報告者：

田中梓都美（関西大学）「官」と「民」、二つの視点よりみる伊能嘉矩の台湾調査活動

——伊能の著作を中心に——

林初梅（大阪大学）「小川尚義の言語学とその時代

——日本「内地」の視点からみた台湾諸言語採集・調査活動」

コメンテーター：小林岳二（自由ヶ丘学園高校）、土田滋（中央研究院）

◇第11分科会（自由論題報告・社会学／国際関係）【午前】

座長：佐藤幸人（アジア経済研究所）

報告者：

呉俐君（琉球大学）「戦後沖縄本島における台湾系華僑一世の移住過程を中心に」

近藤久洋（東京国際大学）「台湾の対外援助：援助戦略の一貫性と援助戦術の変容」

コメンテーター：松本充豊（天理大学）、川島真（東京大学）

◇第12分科会（自由論題報告・歴史学）【午後1】

座長：松田京子（南山大学）

報告者：

顔杏如（行政院国家科学委員会）「越境する女——高橋鏡子の満蒙、台湾経験と国家意識」

富田哲（淡江大学）「日本統治期台湾をとりまく情勢の変化と台湾総督府翻訳官」

コメンテーター：洪郁如（一橋大学）、やまだあつし（名古屋市立大学）

◇第13分科会（自由論題報告・政治学／宗教学）【午前】

座長：渡辺剛（杏林大学）

報告者：

深串徹（青山学院大学）「『戦勝』、『光復』と『脱植民地化』の交錯

——国府の対日『以德報怨』方針と戦後初期台湾——

坂井田夕起子（大阪大学）「戦後台湾の「中国仏教」——中国仏教会の海外交流と「国民外交」」

コメンテーター：福田円（国士舘大学）、石川誠人（立教大学）